

# 選手注意事項

## 1 開会式参加について

- (1) 開会式は第1日目の5月24日（金）10：15より行う。
- (2) 出場校の選手は競技場内に新川地区、富山地区、前年度優勝校、高岡地区、砺波地区の順に整列すること。
- (3) 10：10分までに集合完了のこと。
- (4) 雨天の場合は屋内で行うが、その際は各校代表1名を参加させること。
- (5) 前回大会優勝校、次勝校及び種目優勝校は、それぞれ旗・楯・杯を持参し参加すること。

## 2 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は第2ゲートに設ける。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がアスリートビブスの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。

招集完了時刻はトラック競技は競技開始20分前とし、組により時差を設ける。跳躍競技は走高跳、三段跳、女子走幅跳が40分前、男子走幅跳が50分前、棒高跳は2時間前とする。投てき競技は砲丸投、ハンマー投及び女子円盤投が30分前、男子円盤投、女子やり投が40分前、男子やり投が50分前とする。

混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第2種目以降は混成控室にて点呼（トラックは競技開始の20分前、フィールドは30分前）をとった後、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成競技者控室は、男子：本競技場地下1階トレーニング室、女子：2Aに設ける。

- (3) 競技に出場しない選手・チームはプログラムにつけられている「欠場届」を招集所に提出すること。
- (4) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (5) アスリートビブスはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。ただし、男子混成1500m、女子混成800m、男子5000m予選・決勝、女子3000m、男子3000mSC、男女5000m競歩は主催者が準備した別ビブスをつけること。その際、正規ビブスを持参すること。
- (6) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- (7) リレー競技に出場する学校は、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。また、ユニフォームに関しては、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。（例：セパレートとランニングシャツなど）
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。（ただし、状況により変更することがある）

1位及び北信越大会出場の決定戦は、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって行う。

走高跳	男子	1m60 1m80 練習	1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 1m86 以後 3cm 刻み
	女子	1m25 1m45 練習	1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 1m51 以後 3cm 刻み
棒高跳	男子	2m70 3m60 4m00 練習	2m80 3m00 3m10 3m20 3m30 以後 10cm 刻み
	女子	1m90 2m50 3m00 練習	2m00 2m10 2m20 2m30 2m40 以後 10cm 刻み

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※男子棒高跳の練習は5月25日（土）12:00~14:00の間、メイン競技場で行うことができる

(9) 計測ラインは次のように予定する。(ただし、状況により変更することがある)

男子	砲丸投	9m00	円盤投	25m00	やり投	35m00	ハンマー	なし
	走幅跳	5m80	三段跳	11m00				
女子	砲丸投	なし	円盤投	なし	やり投	なし	ハンマー	なし
	走幅跳	4m40	三段跳	9m00				

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする

(10) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

(11) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。

(12) 助力について・・・フィールド競技に出場している競技者が、当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画された試技の映像を競技区域内に持ち込み、手に取り操作することが許される。しかし、手に取る際、勝手に当該競技エリアから離脱することは認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持することはできない

### 3 表彰について

(1) 種目別表彰はその都度行う。男女総合の部はそれぞれ6位まで、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。

(2) 8位までの入賞者は、当該競技終了後直ちに表彰者控え席に集合すること(控え席は正面エントランスロビー出入口とする。)

### 4 その他

(1) 競技場の開場時間は初日7:15、2日目以降7:00とする。

(2) 学校受付は陸上競技場地下1階ロビーにて行う。

(3) 第63回北信越高校陸上競技対校選手権大会の出場資格を得た者は、表彰終了後、必ず庶務係の先生の指示の下、個票の確認を行うこと。(各種目6位までの入賞者。ただし、男女走高跳・男子棒高跳については、6位までの入賞者6名とする。男女5000m競歩については5位までの入賞者とする。男子八種競技、女子三段跳、女子ハンマー投、女子七種競技については4位までの入賞者とする。女子棒高跳については4位までの入賞者4名とする。)

(4) 大会中のけがは医務室にて応急処置のみ行うが、その後については各自で対処すること。

(5) 各校補助員は、5月24日(金)は9:45に、5月25日(土)～5月27日(月)は8:30に集合場所(会議室5A)に集まり、補助員係の指示を受けること。

(6) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。

(7) 写真・ビデオなどの撮影については、撮影禁止エリアでの撮影を禁ずる。また、競技開始時にシャッター音の出る機材での撮影など競技に支障の出るような撮影は控える。盗撮と疑われる撮影者には、競技役員が声をかけることがある。

(8) 撮影において、報道関係者、業者以外の望遠レンズを使用した撮影は、すべてのエリアで禁止とする。

(9) 競技に支障のあるような応援はしないこと。競技中の集団応援は、サイド、バックスタンドの2階席スタンドで行うこと。メインスタンドでの集団応援、およびメインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。

(10) メインスタンド席の場所取りは禁止する。